

- イベントレポート -

JFA×キリン共催～走らないサッカーで被災地に笑顔や“つながるよろこび”を～
「JFA・キリン ビッグスマイルフィールドin能登町」開催

地元の小学生からご高齢の方まで 74 名の方と交流

全員で楽しむことができる “走らないサッカー”ウォーキングフットボールで被災地の皆さんに“笑顔を届ける”

元サッカー日本代表 巻 誠一郎さんがゲストとして登場

巻さん「サッカーを通じて被災地の皆さんとつながり、少しでも元気を与えたい」

キリンホールディングス株式会社（社長 COO 南方健志、以下キリン）と、公益財団法人日本サッカー協会（会長 宮本恒靖、以下JFA）は共同で、2024年1月1日に発生した能登半島地震の復興応援プロジェクト「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド」を始動し、第1回目を5月12日（日）に石川県能登町立柳田小学校にて開催しました。



©JFA



©JFA

<開催背景>

これまでJFAとキリンは、東日本大震災の復興応援プロジェクトとして、2011年から「JFA・キリン スマイルフィールド※1」、「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド※2」を実施しています。2016年は「JFA・キリン 熊本復興応援 サッカー教室※3」を実施するなど、サッカーを通じて、10万人を超える子どもたちや地域の人々へ笑顔を届けてきました。

※1 岩手/宮城/福島の小中学校で6年に渡りサッカー教室を実施。693校、約10万人が参加

※2 「JFA・キリン スマイルフィールド」を子どもから大人まで、地域の皆さまが参加できるイベントへと進化。7会場約8,500人が参加

※3 熊本県内で被害が大きかった地域の小学校で、サッカー教室を4回実施

この度の能登半島地震の発生を受け、サッカーを通じた復興応援の在り方をあらためて検討しました。現地では、「今までの集まりがなくなって寂しい」「新しい環境でのコミュニティが欲しい」「体を動かせる楽しい時間が欲しい」などといった声が上がっており、これらを解決するべく、「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド」が始動しました。今回のプロジェクトでは、性別や年齢、サッカー経験や障がいの有無に関わらず、皆さんと一緒に楽しむことができる、“走らない”サッカー「ウォーキングフットボール」を活用して、被災地域の皆さんと交流する機会を創出します。

今後もJFAとキリンは、必要とされる地域で「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド」を開催し、サッカーを通じたコミュニティの活性化と、多くの方が笑顔になれる機会を、被災地域に寄り添いながら順次展開していきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

JFA・キリン ビッグスマイルフィールド PR 事務局（委託先：株式会社イニシャル）担当：西野、佐藤、大野
TEL：03-6821-5730 FAX 03-5572-6065 MAIL bigsmilefield@vectorinc.co.jp

<当日の様子>

■ JFA×キリン共催「JFA・キリン ビッグスマイルフィールドin能登町」がスタート

「走らないサッカー『ウォーキングフットボール』を通じて“少しでも皆さんを笑顔にしたい”」

巻さんの登場で地元の皆さんからも大きな歓声が！

当日は石川県能登町立柳田小学校 体育館で開催。地元の小学生やご家族など地域の皆さんが74名に参加をいただきました。開会式ではJFAの二瓶から「本日はみなさまご参加をいただきありがとうございます。今回の『JFA・キリン ビッグスマイルフィールドin能登町』では、皆さんの年齢や性別、サッカーの経験有無などを問わず、走らないサッカー『ウォーキングフットボール』を通じて、皆さんに“笑顔を届けたい”といった想いで企画をさせていただきました。ボール一つで楽しむことができる、サッカーが持つ、素晴らしい可能性や皆さんとの繋がりを生み出す力は強いものだと信じています。少しでも皆さんに笑顔をお届けできるような機会になれば嬉しいです。」と挨拶を行いました。その上で、巻さんからは「皆さん非常に大変な状況かと思いますが、本日はサッカーをやったことが無い方でも、老若男女問わず、皆さんに参加をいただくことができる、走らないサッカー『ウォーキングフットボール』を通じて皆さんと交流できればと考えています。本日は笑顔を大切にしながら、ボールでコミュニケーションを取り、一緒に楽しみましょう！」といった挨拶でイベントはスタート。



(開会式の挨拶の様子)



(巻さんと参加者の方でウォーミングアップをしている様子)

■それぞれのチームがオリジナルのゴールパフォーマンスを披露、サッカーを通じてみんなが笑顔に！

全員で声を掛けてコミュニケーションを取りながら、走ってはいけないウォーキングフットボールを楽しんでいた参加者の皆さん。体育館のあちこちから歓声が上がり、皆さんの笑顔が溢れるイベントとなりました。また、それぞれのチームが思い思いのゴールパフォーマンスを考え、ゴールを決めた後は渾身のパフォーマンスを披露。試合の途中では巻さんが参加するチームの小学生と巻さんのホットラインから決勝ゴールを演出。巻さんとハイタッチと一緒にゴールパフォーマンスを楽しみました。





■キリンHD マーケティング戦略部 泉 伸也 インタビュー：

イベント実施タイミングについては、非常に悩んでいましたが、地元の方のニーズを伺い、このイベントを通して「一人でも多くの方に笑顔届けたい」との想いから、実施に至りました。キリンとJFAが実施してきたウォーキングフットボールを通じて、家族や周りの人との絆が育まれていることを実感し、子どもから大人まで楽しめ、サッカーを通じて新たなコミュニティができれば、との想いで本日を迎えました。今後、珠洲市、輪島市でも開催予定となっており、今回の能登町でのイベントを皮切りに、今後もJFAとともに、被災地の皆さんに笑顔届けたいと思っています。

■巻さんインタビュー：「ボールひとつで、色々な人とつながれることがサッカーの魅力」

-JFA・キリン ビッグスマイルフィールドin能登町に参加した、今の率直な感想を教えてください

(巻さん) 被災地の皆さんの笑顔と笑い声が溢れたイベントとなり、本当に良かったと思います。震災後の生活に疲れたという声もあるこのタイミングで実施できたことにも意味があったのではないかと感じています。これからもJFA・キリンと一緒に被災地の皆さんに笑顔届けたいと思います。

-JFAとキリンが共同で行う「JFA・キリン ビッグスマイルフィールドin能登町」に対するご自身の想いを教えてください

(巻さん) 今後もスポーツ、サッカーの力で笑顔の輪を広げていくとともに、これからも被災地の方々に寄り添って復興支援をしていきたいと思っています。前向きに明るい未来を想像し、希望を持って進んでいきたい。一緒に頑張ろう！

■閉会式では巻さんから地元の皆さんへ応援メッセージ

「サッカーが持つ可能性を信じて、被災地支援の活動をこれからも続けていきたい。」

閉会式では巻さんから「サッカーが持つ可能性を通じて被災地支援の活動を続けていきたい」と挨拶をいただくとともに、キリン泉からは、「年齢も性別もサッカー経験も関係なく参加できる『ウォーキングフットボール』を通じて皆さんの笑顔を見ることができ良かった。今後もJFAとキリンは、輪島市・珠洲市での開催を予定しており、サッカーで皆さんを元気にしていきたいですし、サッカーを好きになってくれたら嬉しいです。皆さんの笑顔が見れて、こちらが元気をもらえたイベントとなりました。」との挨拶で締めました。



■当日の様子



開会式の巻さんの挨拶



イベント前のストレッチ



巻さんとゴールパフォーマンス！

<イベント概要>

JFA・キリン ビッグスマイルフィールド 開催概要（2024年 第1回）

・日時 2024年5月12日（日）14:00-16:00

・会場 石川県能登町立柳田小学校 体育館

※雨天時は、同校体育館にて実施を予定

・内容 「ウォーキングフットボール」を通じた交流イベント

※2回目以降は被災地域のヒアリングを通じて順次実施していく予定

主 催 : 公益財団法人日本サッカー協会、キリンホールディングス株式会社

